

審査項目		採点	比重	配点		観点	
1 管理運営基本方針							
計画的な運営、柔軟な対応、情報の蓄積・更新			×	2	10	30	・戦略と取組が的確で、具体的かつ実現可能か ・館の基本的使命の達成につながるか、館の特長を活かしているか ・科学館の繁忙期対策をはじめとした安全対策は十分なもののか ・積極性や柔軟性がみられるか、また、独自の改善・工夫点がみられるか ・来館者アンケートや業務従事者の声等を活かして、改善点を運営に反映できる仕組みは十分か ・自己評価を改善につなげる仕組みがあるか
安全の確保			×	2	10		
PDCAサイクルの実施			×	2	10		
2 運営目標等							
【各館ごとに】来館者数の目標値（年次・月次）			×	2	10	20	・目標が積極的なもので、それを達成するための取組内容は具体的で、実現可能なもののか ・来館者満足度の測定方法やアンケート調査の実施方法が具体的で実現可能か
【各館ごとに】来館者満足度の測定方法及び目標値（月次）			×	1	5		
【各館ごとに】アンケート調査の実施方法、内容及び目標			×	1	5		
3 館内案内及び展示物説明等							
【各館ごとに】来館者への受付での案内業務、展示物の説明業務			×	2	10	25	・来館者の満足度向上につながるか ・両館がターゲットとする層を踏まえた提案となっているか ・来館者が安心と快適さを感じるサービスの内容であるか ・受付及び展示物の案内に係る提案が適切で十分な内容か ・感染症等防止対策の取組は具体的かつ実現可能か ・外国人、障がい者、高齢者層や親子連れなど様々な来館者層への対応は適切か
【各館ごとに】その他来館者へのサービスの実施内容			×	1	5		
【各館ごとに】感染症等防止対策の実施			×	1	5		
【各館ごとに】様々な来館者層への対応方法			×	1	5		
4 イベント及び来館促進活動							
【各館ごとに】ターゲットとする層を踏まえた来館促進活動及びイベント戦略			×	1	5	35	・両館がターゲットとする層を踏まえた提案となっているか ・水道事業のPR施設としてふさわしい内容であるか ・来館者の増加や満足度の向上につながるか ・内容が具体的かつ効果的か
【各館ごとに】年間イベント（夏休み、閑散期におけるイベント含む）			×	2	10		
秋の特別企画展（上水記展、水道歴史展）（水道歴史館）			×	2	10		
【各館ごとに】周辺地域との連携			×	1	5		
【各館ごとに】対面によらないイベント			×	1	5		
5 館所蔵資料の取扱い（歴史館）							
資料管理の手法			×	1	5	15	・保存管理に関して、資料の種類に応じた適切な手法の提案となっているか ・所蔵資料を活用した情報発信の考え方が館運営のねらい（水道の歴史に対する関心を深め、水道への理解と親しみを深めてもらうこと）に合致し適切であるか ・ライブラリーの利用促進について、記載されているか ・提案されている手法は効果的かつ具体的であるか ・水道局が行う貴重資料のデジタル化やデジタルアーカイブシステムの更新作業に伴い、その実施の補佐ができるか
都民への情報発信			×	2	10		
6 広報活動							
【各館ごとに】広報戦略、年間の実施スケジュール			×	2	10	30	・両館がターゲットとする層や立地環境を踏まえた提案となっているか ・来館者の増加につながるか ・提案内容は具体的かつ効果的か ・ホームページ、SNSを活用した情報の掲示や発信は適切な内容か
【各館ごとに】ホームページ、SNSを活用した広報			×	2	10		
【各館ごとに】館と周辺地域の特性を活かした広報			×	1	5		
教育現場へのアプローチ方法			×	1	5		
7 ICTの活用							
ICTを取り入れた取組			×	2	10	10	・両館がターゲットとする層を踏まえた具体的かつ効果的な提案となっているか ・館内WiFiやデジタルサイネージを活用しているか
8 両館の連携広報							
連携広報の取組			×	2	10	10	・両館の連携広報の提案内容が具体的、かつ相乗効果を発揮できるものであるか
9 個人情報保護等							
企業としての個人情報保護に関する指針、社内規定、組織体制、教育訓練体制等、個人情報保護体制及び留意点			×	1	5	5	・個人情報保護の考え方、個人情報の管理体制及び個人情報に関する研修体制等が適切であるか ・公営施設運営に当たっての留意点が記載されており、その内容が適切か
10 危機管理体制							
危機管理に対する所見、館内巡回等の運用方針、実施体制			×	2	10	10	・危機管理に対する考え方が具体的かつ適切か
11 運営体制							
人員の配置に対する所見、組織図及び役職、要員（人材）の確保・養成に係る考え方及び計画			×	1	5	15	・来館者対応、案内説明及び各種プログラム等を確実かつ安全に実施できる体制か ・募集しようとしている人材が適切であるか ・人材に係る募集・養成・補充計画が現実的で開館に支障がないと見込まれるか ・人員数の確保、高いサービスレベルの維持及び育成の方法、アテンドに対する考え方が具体的かつ適切か ・都及び局事業の動向やその他突発的な事項などに対し、柔軟な運営が行える体制の構築ができるか
アテンドに対する所見、配置計画・1日のローテーション、育成の方法及び具体的な研修の内容			×	1	5		
都及び局事業の動向やその他突発的な事項などの状況変化などに柔軟に対応できる体制構築			×	1	5		
12 類似施設における運営業務実績							
施設名、受託期間、施設の面積、来館者数、受託内容等 留意（工夫）した点やその成果			×	2	10	10	・同等規模以上の科学館、博物館の展示施設における受託等実績は十分であるか ・優れた成果をあげ、館を安定的かつ効果的に運営する能力を有すると判断できるもののか
13 必要経費							
見積額		事務局にて採点			15	最も安価な提案には10点を付与。次に安価な提案には9点を付与し、以降を安価な提案の順に8点、7点、6点とし、最低点は5点とする。	
積算・内訳			×	1		5	・見積価格は提案内容の実現に見合っているか、内訳は妥当か ・見積価格に、両施設の一体運営による合理化など、経費の節減に寄与する内容が含まれているか